慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和三十八年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1964
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.3 (1964. 3) ,p.355- 358
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	松本芳夫先生古稀記念論集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000003-0355

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学附属研究所　斯道文庫　昭和三十八年度彙報

斯道文庫賛助員会の設立

本文庫の財政的基礎を強固にして、その施設を充実し、その研究活動を一段と活潑ならしめる為めに、塾内外有志による拠金募集がかねてから計画されていた。本文庫は発足以来三年を経て、その運営は軌道に乗り、研究計画は漸次実行に移され、一段と飛躍を望む機運が自ら熟するに至ったので、神崎丈二氏等十九名が発起人となり、斯道文庫賛助員会を設けることになり、一月二十日午後四時から、本塾図書館記念室に於て、発起人会を開き、次項の斯道文庫賛助員会内規本会の運営方法等を協議決定した。当日は、秋山孝之輔、井上恒一、小川誠一郎神崎丈二、小泉信三、斎藤武幸、坂牧善一郎、反町十郎、竹内弘、富田正文、花崎利義、星野靖之助の諸氏、塾側から、高村塾長、石丸・気賀両常任理事、松本本文庫長、本文庫委員等が出席した。

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫賛助員会内規

第一条　本文庫規程第十二条、第十三条による慶應義塾大学附属研究所斯道文庫賛助員会の運営は、この内規によるものとする。

第二条　賛助員は、一口五万円（年額一万円、五ケ年間に全納）以上の会費を納めるものとする。

第三条　本会の運営のため、顧問及び運営委員を置き、塾長がこれを委嘱する。

委員長は委員の互選による。

第四条　運営委員会は、委員長の招集により、毎年一回以上開催し、本会の経理及び重要事項を審議する。塾長財務担当常任理事、学務担当常任理事及び文庫長はこれに出席するものとする。

第五条　本会の経理は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終る。本会員は毎年本会の経理及び本文庫の事業の報告を受けるものとする。

第六条　本内規の変更は本運営委員会の議を経て行なう。

附　則

本内規は昭和三十九年一月二十日から施行する。

斯道文庫賛助員会顧問及委員

本賛助員会の顧問、運営委員を塾長から左の諸氏に委嘱することになった。

顧問　麻生太賀吉　秋山孝之輔　小泉信三　高石真五郎　高橋誠一郎　藤山愛一郎　松永安左エ門

委員　新井浩　井上恒一　小川誠一郎

神崎丈二　斎藤武幸　坂牧善一郎　桜内義雄　佐々木茂索　塩山豊蔵　鹿倉吉次　反町十郎　竹内弘　田辺茂一　富田正文　服部正次　花崎利義　星野靖之助　松田伊三雄　望月玉三

文庫賛助員会運営委員会

三月四日午後二時半より、本塾図書館記念室に於て、第一回運営委員会を開き委員長に塩山豊蔵氏を選任し、会員募集、募金方法の細目について協議した。

文庫委員会

五月十日午後四時半より、本文庫長室に於て開き、文庫長より卅七年度後半期の文庫の近況、卅七年度予算の決算、卅八年度予算、卅七年度の研究成果を報告説明し、卅八年度の研究・刊行計画を審議した。

十一月十三日午後三時より、本文庫長室に於て開き、文庫長より文庫近況を報告し、卅九年度予算案、文庫賛助員会設立の件を協議した。

人事

文学部長佐藤勝熊君は、九月卅日、同部長を退いたのに伴い、本文庫委員の委嘱を解かれた。

研究調査

前年度に引き続き左の研究題目を中心として、調査研究と副本作成を進めた。

(1)我が国古典に関する室町以前成立の注釈書並に室町物語類
（担当者　松本芳夫・松本隆信・平沢五郎）

(2)室町以前の日本漢学資料
Ⓐ邦人撰述詩文集類
Ⓑ邦人撰述漢籍注釈書類
Ⓒ日本現存漢籍古写本の綜合的研究
（担当者　阿部隆一・太田次男・尾崎康）

(1)に附属する「唐鏡の諸本の基礎的研究」（平沢五郎・尾崎康）について、昭和卅八年度本塾学事振興資金の補助を受けた。

文庫員が上記の本文庫研究題目に関聯して、本年度に於て公表せる研究成果は次の通りである。

阿部隆一　金沢文庫蔵鎌倉鈔本周易注疏其他雑抄と老子述義の佚文（「田山方南先生華甲記念論文集」収）
金沢文庫蔵鎌倉鈔本「孝経正宗分聞書」考（「金沢文庫研究」九五号）
室町以前邦人撰述論語孟子注釈書考（下）（「斯道文庫論集」三輯）

太田次男　内閣文庫蔵原本信長記について（「史学」三六の二・三号）　柳宗元の山水記について（「斯道文庫論集」三輯）

松本隆信　「千手女の草子」について（「文学語学」廿八号）　御伽草子と奈良絵本（五島美術館美術講座）
御伽草子の本文について(二)—鉢かづきの草子—（「斯道文庫論集」三輯）

平沢五郎　秋夜長物語攷（「斯道文庫論集」三輯）

尾崎康　弘決外典鈔引書考並索引（「斯道文庫論集」三輯）

調査出張

上記の研究課題に関する諸本の調査並

に図書撮影のために、東京都内及び近傍は、内閣文庫・宮内庁書陵部・尊経閣文庫・東洋文庫・金沢文庫・大国魂神社等に出張したが、主な地方出張をあげれば

六月廿七日至廿八日　水戸市　彰考館文庫　太田次男・松本隆信・尾崎康出張

太田和泉守牛一関係文献、平家物語唐鏡の諸本調査及複写撮影

九月九日至十七日　天理図書館、京都陽明文庫・龍谷大学、名古屋蓬左文庫　阿部隆一・平沢五郎出張

漢籍古鈔本・源氏物語林逸抄類の調査及複写撮影

十月十六日至廿三日　京都陽明文庫、奈良東大寺図書館・天理図書館、三重県上野市立図書館、大阪府立図書館　阿部隆一・松本隆信・平沢五郎出張

漢籍古鈔本類・国典注釈書類・室町時代物語・山鹿素行著作等の調査及複写撮影

文庫員研究発表会

文庫員の研究発表を本文庫に於て左の如く行った。

四月廿四日　信長記について　太田次男

五月廿二日　千手女の草子について　松本隆信

六月廿五日　秋夜長物語の作者並にその成立について　平沢五郎

十月八日　北斉の文林館と修文殿御覧　尾崎康

図書文献複写

卅九年三月一日現在、その整理を完了し、登録せる今卅八年度増加図書の単行本は、一九五部五四九冊、うち寄贈書は三十部四四冊、累計図書冊数は七七五八四冊である。増加定期刊行物は三一種である。今年度の主な寄贈者の芳名を左に録して、感謝の意を表する。

金沢文庫殿　天理図書館殿　東京都立日比谷図書館殿　東大寺図書館殿　国学院大学殿　東京大学教養学部殿　大東急記念文庫殿　福岡大学研究所殿　神宮文庫殿　昭和女子大学殿　立正大学殿　立教大学殿　京都大学図書館殿　九州大学殿　東方学会殿　東洋文庫殿　大阪府立図書館殿　中華人民共和国立中国科学院殿　カリフォルニア大学殿　コロンビア大学殿

故林泰輔博士自筆未刊稿本「亀甲獣骨文字表」六冊、「上代漢字の研究」八冊、「論語源流」二冊等の五部十九冊の稿本が、五月一日附を以て林直敬氏から本文庫に寄託されることになった。博士が大正初発表された甲骨文の研究は、甲骨文に関する本格的な学術研究の権輿として世界の東洋学界を驚倒させた。博士が晩年の精力を結集せる甲骨文字の字書と云うべき「亀甲獣骨文字表」は不幸完稿公刊を見ずして歿せられたが、我が東洋学が永久に記念すべき歴史的著作である。

六月十九日、本塾医学部長松林久吉氏より、尊父日本芸術院会員故松林桂月画伯手沢になる、漢詩文集画論等に関する和漢書約二千冊の寄贈を受けた。

本塾文学部国文学科が申請して、昭和

卅八年度文部省私立大学研究設備助成金によって購入せる、中世成立の古典注釈書軍記物語に関する、室町写本百廿句本平家物語を始めとする古写本・古活字本類五十九部一七五冊は、本文庫に蔵置保管することとなった。

マイクロフイルムによる副本作製は、主として前記の研究計画の課題に関する公私の文庫所蔵貴重本について行い、その全巻を撮影せる現蔵量は、三月一日現在整理登録を完了せるものを、被撮影本によって数えれば、本年度増加数は一四五部四七五冊、累計一四九七部三九五〇冊、百呎ネガフイルム二二三巻・同ポジフイルム一三三巻(以上百呎未満を除く)に達した。

この撮影については、本文庫の事業の趣旨に賛意を表され、貴重なる御所蔵本の複写を許可された所蔵者各位の好意によるもので、今年度の主な芳名を次に録して感謝の意を表する。

金沢文庫殿　大国魂神社殿　彰考館文庫殿　陽明文庫殿　上野市立図書館殿　大阪府立図書館殿　蓬左文庫殿　東大寺図書館殿　内閣文庫殿　宮内庁書陵部殿　静嘉堂文庫殿　東洋文庫殿

複写設備の充実

本文庫のマイクロフイルム撮影その他の複写活動は年を追って活潑となったので、昭和卅八年度文部省の私立大学研究設備助成補助金によって、複写関係の設備を充実強化し、現像作業をオート・メーション化して、その能率化を計ることができた。卅九年度よりは、塾内外の複写の希望にも応ずる予定である。

刊行事業

一、斯道文庫論集第三輯

本文庫長の古稀記念特輯として、三月卅日発行。A5判三五九頁。

二、斯道文庫書誌叢刊之一

江戸時代書林出版目録集成二

阿部隆一解説　松本隆信校訂

六月十日　東京　井上書房発行

A4判三九九頁　定価五千円

江戸時代書林出版目録集成三

阿部隆一解説　平沢五郎校訂

十月廿五日　東京　井上書房発行

A4判二三七頁　定価三千五百円

本書は以上三巻を以て、江戸時代(寛文—享和)の書林が編輯せる、当代の出版物を網羅せる連合目録たる「書籍目録」類現存廿三種をオフセット版を以て縮少影印せる原文篇の刊行を終り附巻として以上三巻所収の書名総索引を目下印刷中で、四月末五月初旬間に発行の予定である。

三、慶應義塾大学所蔵漢籍古鈔本展観書目録　一冊

十一月七日、東方学会第十三回会員総会が本塾で開かれた際に、本文庫と本塾図書館蔵の漢籍古鈔本を図書館記念室に展観し、解題つきの本目録A5判廿三頁(油印版)を発行した。

昭和三十九年三月三十日発行

編輯兼発行者　東京都港区芝三田二の二　慶應義塾大学附属研究所　斯道文庫

定価一、〇〇〇円